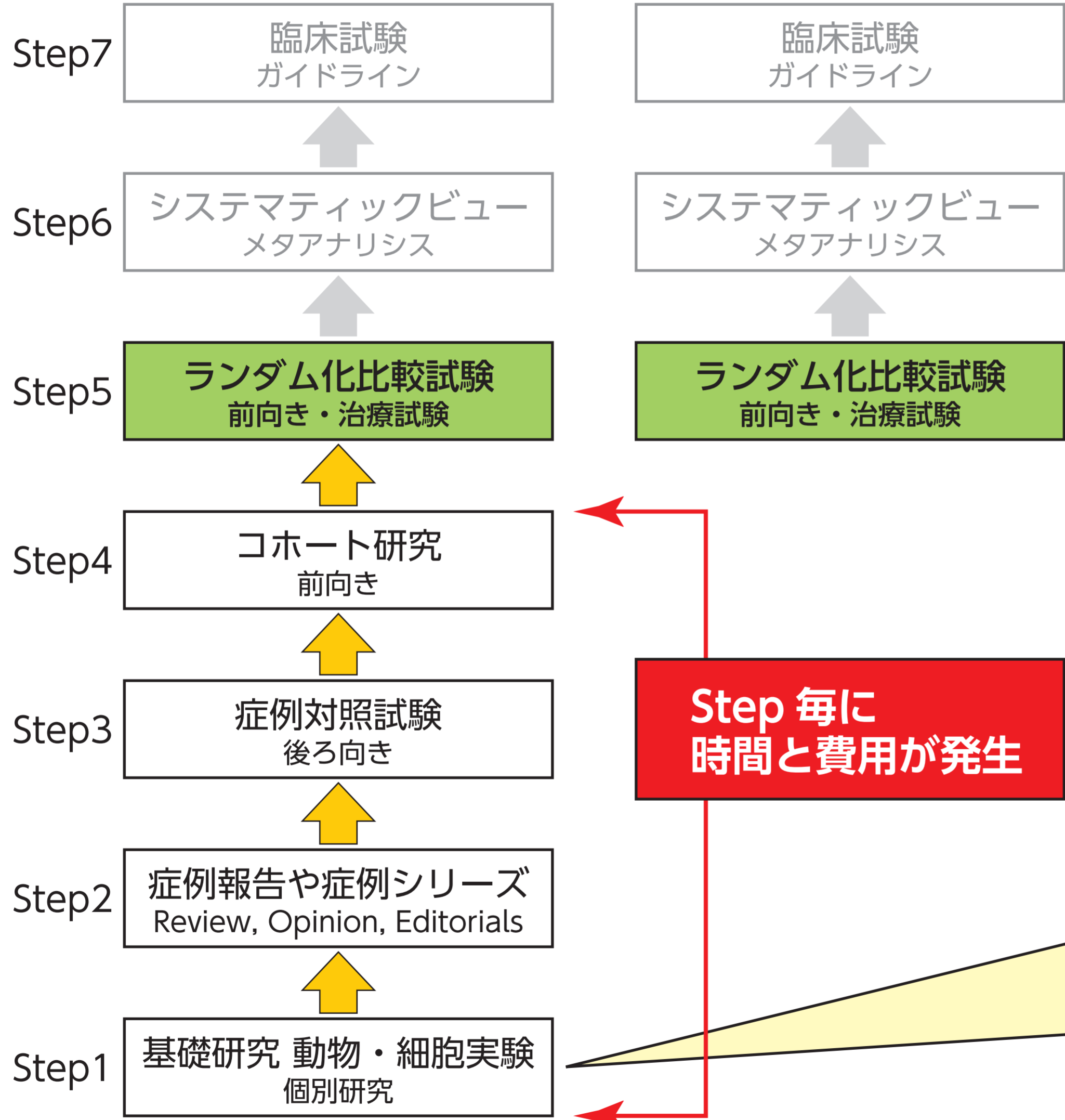


上位  
エビデンス  
下位

一般的な試験は基礎研究から  
順次実施

エバンス Belab. は  
ランダム比較化試験  
を当初から実施



エバンス Belab. はランダム比較化試験を当初から実施

(株) エバンス Belab. が実施する受託試験は、  
近藤礎医師・医学博士が構築した医療機関ネットワークによる  
独自のスキームで、**段階を踏むことなく実験（介入）研究の  
「ランダム化比較試験（前向き・治験研究）」が実施できます。**  
(但し、SDS・内容成分表の提示。毒性：禁忌性のリスクがないと  
確認できることが受託条件です。)

これにより、サプリメント・生薬を含む統合医療の評価方法の中で、  
現時点において最も信頼性が高く評価される  
良質な科学的根拠（エビデンス）を入手できるとともに、  
**製品の開発から販売までの時間を大幅に短縮し、  
さらに試験費用も大幅に削減できます。**

一般的な試験は基礎研究から順次実施

商品を開発し、製品に対して「エビデンス＝科学的証拠」  
を構築する目的で大学や研究機関に試験を委託した場合、  
**通常は最も下位にある「基礎研究（動物・細胞実験＝個別研究）」  
から研究が開始されるのが一般的です。**

順を追って上位の研究へと推移しますが、段階を追うごとに  
費用と時間が必要になります。  
結果的に、大きな費用と時間をかけたにもかかわらず  
「観察研究」程度のあまり質の不高くないエビデンスしか  
手に入れることができない場合もあります。